

ちどり幼稚園保護者様

学校法人川尻学園ちどり幼稚園  
園長 佐藤恒次

## 自己評価の実施について

令和7年2月19日、ちどり幼稚園会議室に於いて学校関係者評価委員会による評価を実施したところ、下記のような結果になりましたので、報告いたします。

## 令和6年度教育活動に対する学校評価

1. 幼稚園の教育目標 心豊かでたくましい子
2. 本年度の重点目標 “5つのいっぱい”と“育てたい10の力”を関連づけながら『外』と『内』の活動を深める
3. 自己評価と反省、また、それに対する学校関係者評価及び今後の課題

## 幼稚園経営

A はい B だいたいあてはまる C あまりあてはまらない D いいえ

|   | 内 容  | 職員 | 評価委員 |
|---|--|----|------|
| 1 | 園の教育理念や教育方針を理解している   | A  | A    |
| 2 | 活動に具体的なねらいを設定し、子どもたちが達成感を感じながら取り組めるよう指導している  | A  | A    |
| 3 | 相手の思いに気づいたり、周囲の人に感謝できる子が育つよう関わりを心がけている<br>“廊下を走らない”姿を、思いやりの気持ちと関連づけながら具体的に指導している                         | A  | A    |
| 4 | 子どもたちの“不思議”への気づきや、発見へのきっかけづくりができるよう環境を工夫し、意図的なはたらきかけを行うとともに“ちどりっこ農園”“ビオトープ”“広場”などの自然体験を通した活動を積極的に取り入れている | B  | A    |
| 5 | 元気よくあいさつできる子が増えるよう積極的にはたらきかけている  | A  | A    |
| 6 | 食べ物に興味をもち、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを心がけている  | B  | A    |
| 7 | 分掌において自分で考え積極的に取り組むことができる  | B  | A    |

|    |   |
|----|---|
| 反省 | <ul style="list-style-type: none"> <li>廊下を歩くについては、繰り返し指導しながらカレンダーにごほうびシールを貼って褒めたり、立て札を作ったりして常に子どもたちが意識できるような環境作りをすることができた。</li> <li>あいさつについては、保育者から元気よく声をかけることで担任に対しては大きな声であいさつできる子どもが増えてきたが、友達同士や他の先生たちにはまだできない子が見られた。</li> <li>食事においては、食べ物に興味を持てるよう写真や、絵を使ったりクイズなどを用いて好き嫌いをなく食事ができるようにもう少し環境作りをしたかった。</li> <li>職員間で十分話し合い、時代に合った保育（方針）を進めていけるよう意識していたが実行するのは難しかった。</li> <li>昨年の反省を生かし、園として外の活動に力をいれ自然とのかかわりを増やした保育活動ができたことは良かった。</li> </ul> |
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は暑さや天候の関係もあり野菜が例年よりうまくできなかったと先生たちが感じていると思うが、それぞれが意識してできたことは良い。</li> <li>先生たちがいつも放課後に園外へでて整備していて、環境はいつもきれいに整えられていると思う。</li> <li>未就園児の“にこにこサークル”でも農園に出かけ野菜の収穫体験などをさせてもらえて良かった。</li> <li>食べ物に関心をもつという部分では、幼稚園だけでなく、家庭の協力も必要になってくると思う。</li> <li>運動会・音楽発表会など行事をみても先生たちが頑張っている様子が見られて良かった。</li> <li>実りいっぱいの園目標に向かって取り組んでいると思う。</li> </ul>   |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつのできる子・廊下を歩くについては、保育者が手本となるよう意識し園全体で声掛けしていくことが大切である。また継続して指導していくことで身につけられるようにしていきたい。</li> </ul>   |

## 保育の計画性

|    | 内 容   | 職員 | 評価員 |
|----|---|----|-----|
| 1  | 子どもたちの姿を教育目標に近づけるために、願いや意図を明確にして環境構成をしている   | B  | A   |
| 2  | 保育の評価・反省を行い、次の保育につなげている   | B  | B   |
| 反省 | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが自発的に活動できるような環境作りをもっとしたいという思いはあったがなかなか思うようにできなかった。</li> <li>計画を立てることで活動中の子どもたちの様子を見ることができたので計画はしっかりと立てて取り組みたい。</li> <li>学年で話し合いを設けて活動を進めることができたが、個々の反省をするだけで共有することができなかった。</li> <li>子どもたちが季節や行事に親しみを持って楽しめるようペープサートを使って歌を覚えたり絵本を見たり写真を貼ったりしながら保育することができた。</li> <li>外国籍の子どもが増えてきたので保育の中で英語の歌を取り入れるなどできたことは良かった。</li> </ul> |    |     |
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>保育の評価・反省はそれぞれが自分でしっかりと反省を行って行って欲しい。</li> <li>研究保育を見るといろいろな活動を取り入れられていると思う。</li> <li>園内の掲示物・壁面等も季節が取り入れられていて良いと思う。</li> </ul>   |    |     |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>保育のつながりを意識して計画を立てられるようにしていきたい。</li> <li>しっかりと振り返りをする事で次の保育につなげていきたい。</li> </ul>  |    |     |

## 保育の在り方・幼児への対応

|    | 内 容  | 職員 | 評価員 |
|----|--|----|-----|
| 1  | 子どもたちが健康で安全に過ごせるよう、十分な配慮をしている  | A  | A   |
| 2  | 子どもの姿をよみ取りながら、発達に応じた適切な指導を行っている  | B  | A   |
| 3  | 教師同士が協力しあったり、意見を交換しあったりしながら共通理解をもって対応している  | B  | B   |
| 反省 | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもに対する読み取りが不十分な所があり子どもが登園を渋ってしまうことがあった。その後十分配慮することで改善できたが事前に対応しておくべきだったと反省している。</li> <li>安全面においては、職員間の共通理解ができていないと感じることがあったので常に確認し合えるようにしたい。また日々の点検もしっかりと行っていきたい。</li> <li>個々に合った支援ができるよう子どもたちとのかかわりを深めていきたい。</li> </ul> |    |     |
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練で避難する隣の施設との連携も難しいと思うが、職員だけでも下見をさせておいてもらいたいと思う。</li> <li>安全面においては職員の共通理解も大切だと思う。</li> </ul>  |    |     |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時には、園だけでなく地域の協力が得られるのかも具体的に知っておくことも必要。</li> <li>その場に応じた対応ができるように職員の共通理解を持てるようにしていきたい。</li> </ul>  |    |     |

## 教師としての資質や能力・良識・適正

|    | 内 容  | 職員 | 評価員 |
|----|--|----|-----|
| 1  | 自分自身の行動が、子どもたちに大きな影響を与えていることを意識し、言動・行動に常に気をつかうよう心がけている   | A  | A   |
| 2  | 組織の一員であることを自覚し、守秘義務の遵守や、職員同士が信頼しあえる関係を築くための配慮をしている   | A  | A   |
| 3  | 保育のためのアイデアやヒントを得るため、アンテナを高くし環境と関わったり、情報を得たりする努力をしている   | A  | A   |
| 反省 | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの手本となれるよう言葉使いなど意識して行動することができた。</li> <li>もっと保育のアイデアを吸収できるよう努力したかった。</li> <li>他の先生の保育を真似して自分の保育に取り入れられるよう心がけた。</li> <li>他の職員と意見交換をしたりする時間が十分とれないので朝の打ち合わせ時間前など時間を作るようにした。</li> </ul> |    |     |
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>若い先生たちも育ってきて、頑張っている様子が研究保育の参観などでもみられて良い。</li> <li>先生たちの評価も A なので A で良いと思う。</li> </ul>   |    |     |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>常に、保育者として子どもの前に立っていることを意識して発言・行動していきたい。</li> <li>お互いの保育についての意見交換のできる雰囲気作りをしていくことでお互いの考えを共有していきたい。</li> </ul>  |    |     |

## 保護者への対応

|    | 内 容   | 職員 | 評価員 |
|----|---|----|-----|
| 1  | 園の方針を理解し、保護者に理解してもらうための努力・工夫をしている   | B  | A   |
| 2  | 情報を発信するときは、個人・クラス・園全体というさまざまなケースを慎重に見極め、場合によっては園長・主任に相談したうえで適切に対応している   | B  | A   |
| 3  | “親しみ”と“馴れ合い”を混同することなく、教育者らしい態度で保護者との関係を築くことを心がけている  | A  | A   |
| 反省 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者対応が難しいと感じることがいくつかあった。全部を受け入れるのではなくこちらの考えや意図も伝えられるようにしていきたい。</li> <li>・外国籍の方に手紙等の内容を伝える際は丁寧な対応で確認しながら落としがたいよう行いたい。また子どもの様子も心配され不安になる方もいるので保育を見にきていただけるよう進めるなど配慮できた。</li> <li>・保護者の立場に立って言葉を選びながらうまく話ができるようにしていきたい。</li> </ul> |    |     |
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者もいろいろになってきて大変だと思うが一生懸命やっていると思う。</li> <li>・保護者の考え方もいろいろになってきて園の方針を理解してもらうのも大変だと思うが頑張っている。</li> </ul>  |    |     |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の取り組みや方針を保護者の方に理解していただけるよう丁寧な対応、配慮に努めていきたい。</li> <li>・園での子ども様子を積極的に伝えることで安心して預けていただけるようにしていきたい。</li> </ul>   |    |     |

## 地域の自然や社会とのかかわり

|    | 内 容   | 職員 | 評価員 |
|----|---|----|-----|
| 1  | 幼稚園での生活が、小学校生活の基盤になることを意識し、小学校の教育内容について意識しようとしている   | B  | A   |
| 2  | 子どもたちの生活は、地域社会や身近な自然、家庭、園生活がひとつづきのものとして、連続性をもちながら成り立っていることを意識し、直接的・具体的体験ができるよう活動内容を工夫している   | B  | A   |
| 反省 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方とのかかわりにおいては学年に差があるが、年長さんは今年も外部の方と様々な交流ができて良かった。小さい学年の子どもたちはどんなかかわりが持てるのかを考え、かかわりの持てる機会を増やしていきたい。</li> <li>・人の話を聞く・廊下を歩くなど小学校につながる基本的なことを身につけられるよう意識したが難しい所があり、早い時期からの繰り返しの指導が必要だったと思った。</li> <li>・自然とのかかわりが楽しめるようお散歩バックを作ったりカメラを作ったりしたことで虫や草花探し楽しむことができた。</li> <li>・他の学年と一緒に農園や広場にお散歩に出かけ楽しむことができた。</li> <li>・今年度ちどりっこフェスタを子育てフェアとして行ったことで、広い範囲の方に園を知ってもらう機会となり大勢の方が遊びに来てくれたことは良かった。</li> </ul> |    |     |
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続性を持つということは幼稚園だけでなく家庭と両方が必要になってくるので良い。</li> </ul>  |    |     |

|    |   |
|----|---|
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園での農園活動などは小学校の生活科などに生きてくると思う。</li> <li>・幼稚園でのあそびの経験が小学校にいても生きてくると思う。</li> <li>・保育を参観して子どもたちの様子を見ると、しっかりとイスに座って先生のお話が聞けていて良いと思う。</li> <li>・幼稚園でやってきたことを家庭でも繰り返しやってみせてくれることもある。</li> <li>・幼稚園に来ると子どもたちがあいさつをしてくれる。</li> </ul> |
| 課題 | ・大人になってからの基礎となる、あいさつやルールを守るなどが身につけられるよう繰り返し指導していきたい。  |

## 研修と研究

|    | 内 容   | 職員 | 評価員 |
|----|---|----|-----|
| 1  | 研修会や研究会には自己課題を持って参加できた  | B  | A   |
| 2  | 常に質の高い教育の実践を求め、与えられた研修に義務的に参加するだけでなく、自己課題を持つての研修・研究を重ねた   | B  | B   |
| 3  | モンテッソーリ教育への理解を深め、援助者としての接し方が身に着くよう努力した  | B  | A   |
| 4  | 幼小の円滑な接続を意識し、幼児教育カリキュラムに基づいた実践が出来るよう、前向きな姿勢で研修に取り組んだ  | B  | B   |
| 反省 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれのクラスで研修テーマを決めたことでそれに向かって研究保育も計画することができたが、継続していくことの難しさを感じた。<br/>次へつなげられるような活動を展開できるようにしたい。</li> <li>・研究保育ではねらいを持って保育を進めることができたが、普段の保育においてねらいが明確でないと感じることもあったため、子どもたちの成長にどんな活動を取り入れたらよいのか研究していきたい。</li> <li>・子どもたちの現状を話し合う中でアイデアを出し合い日常の保育を進めることができた。</li> <li>・研修で学んだことを日常の保育で生かすことが十分できなかった。</li> <li>・遠州地区との合併にともない、より広い地区の先生たちと学べるようになったことは様々な情報や勉強ができる機会が増えるて良かったと思う。</li> <li>・園内職員研修を行うことで、学期ごと自分の保育を振り返り見直すことができて良かった。</li> </ul> |    |     |
| 評価 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Bが多いが、それぞれの先生たちの目標意識が高くてBになっていると思う。</li> <li>・研修で学んだことを保育で生かすということは子どもたちの実態もあると思うので難しい部分があるかもしれない。</li> <li>・研修会などに自己課題を持って参加することはできていたと思う。</li> </ul>  |    |     |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢・経験も様々である職員の良いところを学び合えるような研修を行っていきたい。</li> </ul>  |    |     |

## 分掌

|           |   |
|-----------|---|
| <p>反省</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬野菜に虫が大量発生してしまい育ちが悪くなってしまった。気候なのか、土なのか考えさせられた。もう少し早めの対策をすべきだったかもしれない。</li> <li>・農園へ毎日行き、“見る”ということを感じたことで早目の対応、収穫のタイミングがわかりやすかった。</li> <li>・ビオトープや駐車場、園庭など子どもたちや保護者が利用することを考えて整備を行ってきた。毎日の点検から変化に気づけるようにしたい。</li> <li>・行事の際、駐車場の利用に関して保護者に伝えてきたが、うまく伝わらないこともあり伝え方の難しさを感じた。</li> <li>・今年度は夏まつりのやり方を変更し子ども主体の楽しい会となりよかった。</li> <li>・にこにこサークルの出席率が低いこと・小さい子の参加が多いことを考えて、常にお母さんたちと会話し園に対し何か希望があるか聞くようにしてきた。</li> <li>・自分なりに順序立てて効率よく仕事を進めることができた。</li> </ul> |
| <p>評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・外回りの環境整備が大変だと思うが頑張っていると思う。</li> <li>・若い先生たちも育ってきているようで頑張っている姿がみられた。</li> <li>・男性職員がいるのも良いと思う。</li> </ul>  |
| <p>課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年の反省点を共有し、次年度に生かしていきたい。</li> <li>・引き続き環境整備に努め、子どもたちが安全に遊べるよう環境作りをしていきたい。</li> </ul>  |

## その他

|           |   |
|-----------|---|
| <p>反省</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の変化とともに保育を変えていかなければいけないところがたくさんあるように感じている。</li> <li>・まずは全職員の心身ともに健康であることが1番大切である。</li> <li>・主任として隣のクラスを気にかけるようにしているが自分に余裕がなくなりできなくなってしまうこともあった。</li> <li>・指導する立場となり後輩への指導に難しさを感じている。</li> <li>・自分の思ったことや考えを外に発信することがうまくできなかった。</li> <li>・日々の保育活動・行事を迎えるにあたって早めに準備をし余裕を持って行えるようにしたい。</li> <li>・運動会は雨天で日曜日に園庭で開催したが、暑さも防げて安全に行うことができ良かったと思う。</li> <li>・自分のこれまでの経験を十分生かすことができず反省している。</li> </ul> |
| <p>評価</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の入替わりも少なくても良い。</li> <li>・保護者は助かっていると思うが、行事の振り替え休日がなくて先生たちは大変だと思う。</li> <li>・保護者アンケートを見ると、幼稚園だけでなく家庭にかかわることも多いと思うので幼稚園に頼りすぎている方もいるのかなとも思う。</li> </ul>  |
| <p>課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な面で家庭の協力ももらいながら共に子どもを育てていけるような関係をつくっていきたい。</li> <li>・夏の暑さも厳しくなってきているので、子どもの体調に十分配慮しながら保育を進めていきたい。</li> </ul>  |